



# 食育の大切さを実感

## 第6回生涯学習大会 第4回本のあるまちづくり大会

第6回生涯学習大会と第4回本のあるまちづくり大会を2月6日(日)、保健福祉センターなわで、「食育の推進」をテーマに行いました。

会場では、百人一首大会、

の試食など、盛りだくさんの内容で実施。町内外から約500人の方が参加され、食育を通じた人づくり、地域づくりの大切さを実感しました。

布絵本づくり教室、「ふるさと」の食べ物を使った料理募集「家庭の日作品募集」の表彰式、料理人 森野熊八さんの講演、「食べること、育てること、私たちにできること」をテーマとしたパネルディスカッション、学校給食

また、ブロッコリー井戸端(サポート)会議の皆さんも大会運営に参加。ブロッコリーのことを町民にもっと知ってもらおうと、ブロッコリーツリーの展示などでふるさとの特産品をPRしました。



▶ステージ上でも地元特産をPR。

▼森野さんの「もったいないが食育の基本」をテーマにした講演では、食育の大切さを考えることができました。



## 雪に感動!

# スキー体験に 民泊家庭のぬくもり

～大山町・嘉手納町

人材育成交流事業～



旧大山町と沖縄県嘉手納町が、ともに国体のソフトボール会場になったことが縁で毎年夏と冬に児童が相互に訪問しているこの事業。23回目の今回は、嘉手納町の児童16人(小学5年生)が2月1日から4日まで3泊4日の日程で町内を訪問し、同学年の8家庭にホームステイをしながら、スキー体験や学校訪問を通して交流を深めました。

1日目は、関係者の歓迎を受けて民泊家庭の児童、保護者と対面。初めての出会いにお互い少し緊張しながら挨拶を交わし、交流がスタートしました。

2日目の名和小学校訪問では、同校4年生による太鼓披露と6年生の合唱、嘉手納町



▲嘉手納町児童が待望のスキー交流

児童による民謡披露があり、その後ゲームを通して交流を深めました。

3日目は、嘉手納町の児童たちが待ちに待ったスキー教室。指導員から滑り方を教わ

## 除雪用スコップなどを 学校、保育所に寄贈



▲2本ずつ寄贈されました

このほど「除雪に役立ててほしい」と、御来屋駅前の日興タクシー(角田隆博社長)から町内の小中学校と保育所に、除雪作業用のスコップなどを各2本ずつ寄贈していただきました。

この冬は、学校や保育所でも除雪に大変苦労しました。除雪用具が店頭で品薄になる中の寄贈に「大助かりです!ありがとうございます」と感謝の声がかれました。



▲「響け名和太鼓」を披露(名和小)

りながら、民泊家庭の児童とともに初体験のスキーを堪能しました。

最終日には、仲良くなった大山町児童たちとの今夏の再会を楽しみに、元氣良く帰路に着きました。